

## 平成20年度 第2回松江市入札監視委員会

### 議事概要

開催日及び場所	平成20年7月29日(月) 松江市役所 本館3階 入札室	
委員	委員長 朝田 良作(島根大学法科大学院教授) 委員 有田 友子(島根地方労働審議会委員) 大野 敏之(弁護士) 金子大二郎(松江工業高等専門学校教授) 後藤 勇(公認会計士)	
審議対象期間	平成20年1月1日～平成20年4月30日	
抽出案件	(総件数) 4件	(備考) 抽出の考え方(抽出担当委員) ・生活者としての立場から、安全安心な市民生活にとって必要な工事という視点で抽出。
一般競争入札	2件	
指名競争入札	2件	
随意契約	(対象案件なし)	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

参考までに、各抽出事案の「抽出事案説明書」を添付します。

抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札		
工事名	平成 19 年度片江漁港西防波堤新設工事		
工事種別	一般土木工事		
工事概要	施工延長 L = 40 m 捨ブロック式傾斜堤		
入札参加資格	<p>平成 19・20 年度松江市建設工事競争入札参加資格者名簿に記載された土木一式工事の総合点数が 771 点以上であること（松江市の格付 A・B に相当）建設業法に規定する営業所（本店、営業所等）を松江市内に有すること</p> <p>施工実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去 10 年間の公共工事 1 契約で 5 百万円以上の完成した土木一式工事の施工実績</li> <li>・過去 10 年間の公共工事で港湾・漁港漁場及び海岸工事（作業船を使用する海上工事）の施工実績</li> </ul> <p>配置予定技術者：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去 10 年間の島根県内での港湾・漁港漁場及び海岸工事の施工実績</li> <li>・申請者との直接的・恒常的な雇用関係（3 ヶ月以上）</li> <li>・監理技術者又は主任技術者としての資格を有する者</li> </ul>		
入札参加資格設定の理由及び経緯	<p>設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。</p> <p>「港湾・漁港漁場及び海岸工事」に該当するため、土木一式工事の要件に、所在地及び施工実績の要件を加える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所在地...市内に建設業法に規定する営業所を有する業者</li> <li>・過去 10 年間の公共工事で港湾・漁港漁場及び海岸工事（作業船を使用する海上工事）の施工実績</li> </ul> <p>経緯：平成 20 年 2 月 21 日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。</p>		
入札参加資格確認申請業者数	4 社		
入札参加業者数	4 社（辞退なし）	無資格業者数	最低価格者で落札決定した。
契約金額	30,450,000 円（うち消費税等相当額 1,450,000 円）		
無資格理由の説明	該当なし		
入札の経緯及び結果	<p>平成 20 年 3 月 18 日 開札 最低価格者：(株)紅花組</p> <p>平成 20 年 3 月 19 日 資格審査の結果、(株)紅花組に落札決定。</p>		

## 抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札		
工事名	下東川津町污水枝線その8工事		
工事種別	一般土木工事		
工事概要	施工延長 L = 44.8 m 推進工 ( 150 ) L = 44.8 m マンホール N = 1基		
入札参加資格	平成19・20年度松江市建設工事競争入札参加資格者名簿に記載された土木一式工事の総合点数が651点以上であること(松江市の格付A～Cに相当) 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること(市内業者) 施工実績： ・過去10年間の公共工事1契約で5百万円以上の完成した下水道工事(延長40m以上の推進工)の施工実績 配置予定技術者： ・申請者との直接的・恒常的な雇用関係(3ヵ月以上) ・監理技術者又は主任技術者としての資格を有する者		
入札参加資格設定の理由及び経緯	設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。 下水道工事は、「開削工」「推進工」の2つの工法があるため、設計金額1千万円以上4千万円未満の土木一式工事についての設定要件に「推進工による下水道工事」の要件を加える。また、推進工の実績を有する業者は限定されるため、格付の要件を緩和し、競争性を確保する。 (設定要件) ・格付...業者及び下記の実績を有するA～C業者(A業者の申請を認める) ・所在地...市内業者 経緯：平成20年1月9日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。		
入札参加資格確認申請業者数	8社		
入札参加業者数	8社(辞退なし)	無資格業者数	最低価格者で落札決定した。
契約金額	10,185,000円(うち消費税等相当額485,000円)		
無資格理由の説明	該当なし		
入札の経緯及び結果	平成20年2月5日 開札 最低価格者：(株)サピイ 平成20年2月6日 資格審査の結果、(株)サピイに落札決定。		

## 抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	大橋川浸水防止工事その8
工事種別	一般土木工事
工事概要	浸水防止ゲートの設置工事 ・浸水防止ゲート（フラップ式） 250mm      2基                      350mm      1基 400mm      2基                      450mm      1基 600mm      1基                      計              7基 ・付帯工                                      一式
工事のランク	土木一式工事 C等級及びD等級
指名業者数	10社（平成19年12月18日、指名審査会において審議の結果決定した。）
契約金額	6,930,000円（うち消費税等相当額330,000円）
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、本社を施工場所と同じ橋南地区に有する、C等級6社及びD等級4社を選定した。
入札の経緯及び結果	平成20年1月8日 開札 栄成技建(有)に落札決定。



別 紙

質 問	回 答
入札方式別発注工事の状況について	
<p>全体に落札率が高いように思われるが、落札結果は公表されているのか。また、どのような形で公表されているか。</p> <p>高落札率の工事がかなりあることについての対応は。</p> <p>落札率が極端に低い工事があって、低入札価格調査を実施したということだが、落札率が低かった理由は。</p>	<p>各工事ごとの結果を、ホームページと閲覧により公表している。集計したものは公表していない。</p> <p>落札率が高い工事もあるが、逆に低い工事もあり、様々な結果となっている。不調となった工事も含め、1つ1つの入札結果について検証している。</p> <p>工事費の内訳、施工体制等について調査したが、価格を下げた要因として、資材を安価に入手できる点や、受注工事のない時期で施工内容も比較的容易であったため、直接雇用している作業員の人件費を確保したいという状況があった。</p>
指名停止等の運用状況について	
特に意見なし。	
談合情報について	
(該当案件なし。)	
1. 一般競争入札【平成19年度片江漁港西防波堤新設工事】	
<p>「過去10年間の工事实績」を求めた根拠は。</p> <p>入札参加資格で求めている格付の点数は、一番高い事業者で何点位か。</p> <p>発注時期は早くできなかったか。</p>	<p>「松江市建設工事請負契約競争入札参加資格審査要綱」「松江市建設工事事後審査型制限付一般競争入札執行要領」の中で施工実績を要件として求めることとしている。実績を認める期間を「10年間」としたのは、期間が短すぎると実績のある事業者が絞られて競争性を損ねるおそれがあるため、島根県等の他自治体の事例も参考にして定めた。</p> <p>土木一式工事業者に関しては、全ての登録業者の中では1,700点位、市内業者に限っては1,300点位が最高である。</p> <p>国からの補助金の交付決定が昨年末であった。海上工事は波の高い冬期は施工できないので、平成20年度にかけて実施する事業として発注することとした。</p>
2. 一般競争入札【下東川津町汚水枝線その8工事】	
<p>工法等から施工可能な業者が限定される場合、金額によって定められた格付を変えるということであるが、その基準は。</p>	<p>松江市内で参加要件を満たす事業者が、概ね20～30社確保できるところを目安としている。</p>

3. 指名競争入札【大橋川浸水防止工事その8】	
指名業者の選定は、要領や運用基準に基づくものか。	「松江市建設工事入札参加者等選定要領」にある選定基準表の中で、設計金額に応じた格付等級と選定業者数を定めており、それに基づき選定している。
この工事は道路排水を目的としたものか。	県道も含め、側溝からの排水を目的とした工事である。平成18年の水害の際、島根県と行った対策会議の結果、松江市の受け持ちとなったものである。
4. 指名競争入札【天神川浸水対策工事（灘町工区）】	
特に意見なし。	
落札率等に関する意見交換	
<p>落札率が高いという意見が出ている。予定価格に近いということが、適正な競争の結果であれば問題ないが、予定価格が想定される又は漏れているということがあってはならない。今後は予定価格の決定手続や予定価格を含む情報の管理が各担当部署で適切に行われているかも含めて審議することとしたい。</p> <p>全体的に落札率が高いとは思わないが、一部の特定分野で落札率が高いことが気になる。</p> <p>落札結果を集計データとして公表してはどうか。</p> <p>入札も含めた工事の発注過程を、市民の方に分かりやすく情報公開することは、簡単なようで結構難しいことだと思う。この委員会の継続課題として、年度内にアウトラインができるようにしたいと考えている。</p>	<p>落札結果の詳細な分析は、今後ともやっていく必要があると考えている。過去に予定価格を事後公表とすることで落札率が下がった例もあり、今後様々なデータを提示しながら説明させていただきたい。</p> <p>今回の対象期間は、年度末にかかったということで受注工事が詰まっており、受注側に余裕がなく、競争性が低下していたことも考えられる。</p>
(その他)	
<p>1. 次回の会議日程は、平成20年10月9日(木)を開催予定日とし、調整する。</p> <p>2. 抽出対象期間は平成20年5月1日から平成20年7月31日とし、抽出委員は松江市入札監視委員会運営要領の規定により、大野委員とされた。</p>	